

■事業の目的・目標

➤ 系統用蓄電池の充電制御ロジックの構築およびエネルギーマネジメントシステム（蓄電池EMS）の開発と、コネクト&マネージシステム（C&Mシステム）との連係方法を確立するため、蓄電池設備によるフィールド実証を通じ、系統用蓄電池による混雑緩和を実現するための基盤技術の確立を目指す。

系統用蓄電池による系統混雑緩和のイメージ

実証用システム開発のイメージ

■2025年度の主な成果

➤ ステークホルダとの議論や海外動向調査を通じ、混雑緩和の実現方法に係る論点を整理
（例）一般送配電事業者（C&Mシステム）から蓄電池事業者への充電指示による混雑緩和方法の基本的方針
蓄電池事業者による混雑予測および混雑緩和への対価の必要性や実現可能性

一般送配電事業者からの充電指示による混雑緩和方法のイメージ

海外動向調査における混雑緩和の実現方法の論点

➤ フィールド実証（2027～2028年度）の実施に向け、実証用C&Mシステムと蓄電池EMSの混雑緩和機能の要件定義、および実証用の系統用蓄電池の設置工事を実施中（2026年度も継続対応）。

蓄電池EMSの構成イメージ

フィールド実証の実施予定地

■今後の取り組み（実用化・事業化の見通し）

➤ フィールド実証を通じ、混雑緩和機能を有する蓄電池EMSの開発およびC&Mシステム改修に係るシステム仕様を整理する。